



# CSR報告書 2023

GROUP OF ASAHI

CSR REPORT

事業所・拠点（国内・海外）

2023年4月1日 現在



国内事業所

① 旭紙業株式会社

設立 1941年5月（創業1911年）  
所在地 東京都港区高輪  
-1) 本社 東京都港区高輪  
-2) 横浜工場 神奈川県横浜市磯子区  
-3) 藤枝工場 静岡県藤枝市高柳  
事業領域 段ボール及び紙器製造  
ペーパー・ハニカム製造

④ ヘキサ・ジャパン株式会社

設立 1997年2月  
所在地 東京都港区高輪  
事業領域 ペーパー・ハニカム製造  
原材料、製品、設備、  
部品等の輸出入、国内販売

② 東北旭紙業株式会社

設立 1969年4月  
所在地 福島県岩瀬郡鏡石町南町  
事業領域 段ボール及び紙器製造  
ペーパー・ハニカム製造

⑤ 有限会社エーティーエス

設立 1991年2月  
所在地 神奈川県横浜市磯子区  
事業領域 物流・運搬管理

③ 有限会社アサヒシステム

設立 1988年11月  
所在地 東京都港区高輪  
事業領域 包装関連商品の販売  
及び原材料の販売

⑥ 有限会社アサヒインシュランス

設立 1991年3月  
所在地 東京都港区高輪  
事業領域 保険代理業

海外事業所

⑦ 旭紙業（常熟）有限公司

設立 2005年7月  
所在地 中国江蘇省常熟市  
事業領域 段ボール及び紙器製造  
ペーパー・ハニカム製造

⑧ PT ORIENTAL ASAHI JP CARTON BOX

設立 1992年  
所在地 インドネシア ジャカルタ市近郊  
事業領域 段ボール及び紙器製造

## 基本方針

アサヒグループは法令を遵守し、公正、公平な企業活動を通じて株主及び社員とその家族、当社に関係する皆様と地域社会から信頼される企業を目指します。

また、事業活動の展開、環境保全、地域社会の持続的発展に貢献していきます。

## CSRの取組

### 管理体制の整備

法令順守、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンス規範体制整備

### 人権の尊重

パワーハラスメント・セクシャルハラスメント等の防止と継続的な教育、人権教育、ジェンダーの平等、雇用の多様性を促進、雇用及び職業における差別の撤廃

### 労働慣行

ワークライフバランス、残業軽減、働きやすさ（働き方改革を推進）、その他福利厚生施設を設置、物流改善（定期物流会議の実施）、定期的な上長教育の実践、社内報の発行、強制労働の禁止、児童労働の禁止、結社の自由と団体交渉権の尊重、メンタルヘルスケア対策の実践、DXへの取組、産休・育休制度の実施

### 環境への取組

ISO 14001, FSC<sup>®</sup>(森林認証)等 外部認証の取得継続、廃プラスチック・廃液処理、自然エネルギー、リサイクル、省エネルギー、ISO 18001への取組

### 安全衛生・安心への取組

安全な製品の提供（FSC<sup>®</sup>等）、より良いサービスの提供、持続可能な商品の開発、労働安全活動の実践

### 危機管理の徹底

BCP（事業継続計画）対策、情報管理規定の見直しと徹底、災害協力協定の締結と推進、感染防止対策の徹底

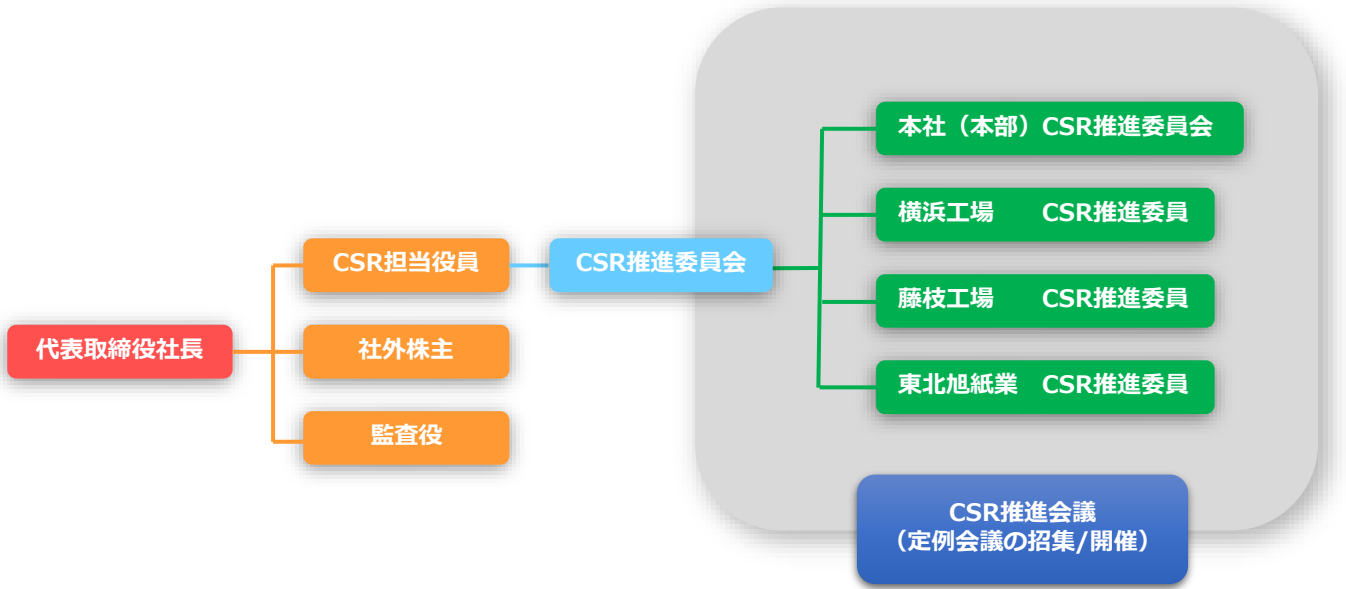
### 地域・社会への貢献

各拠点、グループ企業における社会貢献活動を推進、地域での信頼関係の構築

### SDGsへの取組

CSRを取り組む中で持続可能な社会貢献を推進し、今までに無かったイノベーションやパートナーシップを構築  
2025年カーボンニュートラルに向けて当社独自の取組を開始

## CSR推進体制



## 1 管理体制の整備

私たちは、持続的な企業価値の向上とお客様や社会からの信頼性向上のため、法規制のルールに則り、実効性のある体制の下で、公正性を確保し、コーポレートガバナンスの強化を推進してまいります。

- 内部通報制度の制定（2019年4月）
- コンプライアンス教育  
全社員に対し、年間2回以上のコンプライアンス教育を実施しています。
- コーポレートガバナンス強化  
当社の企業理念・CSRの基本方針に則り、客観性と透明性の高い経営を実施していきます。
- 組織として全体最適を目指したチームワークの促進

## 2 人権の尊重

私たちは基本的人権を尊重し、差別のない、明るく健康的で公正な職場づくりを目指します。

- ハラスメント（セクハラ・パワハラなど）相談窓口を全事業所に設置（2018年11月）  
⇒相談員には年に1度の教育を実施
- 私たちは、全てに与えられた権利を尊重し、非人道的な扱いを行いません。
- 管理職・職場のリーダーに向けた定期的なハラスメント教育を実施
- 職場におけるハラスメントアンケート実施
- メンタルヘルス面談，ハラスメント面談の定期実施
- 雇用及び職業における差別の撤廃（従業員教育による理解度の向上）



ハラスメント相談窓口案内

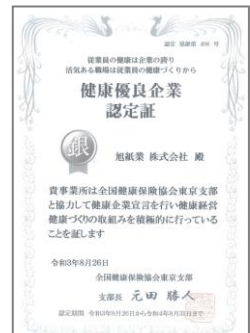


### 3 労働慣行

社員が生き生きと働くことができる職場環境づくりを目指し、継続的な教育プログラムの下、豊かで個性的な人材を育みます。

また、取引の公平性・透明性を徹底します。

- 安全で衛生的な職場環境の提供
- 当グループは全社員を対象に年1回インフルエンザ予防接種、定期健康診断を実施
- 夏季の暑さ対策（冷水、塩飴、カキ氷を配布、工場内スポットクーラーエリアの拡大）
- CSR調達ガイドラインの制定（2022年度）
- 健康経営優良法人認定への取組を各事業所で推進中
  - ⇒ 本社 2021年8月 銀の認定証を取得  
東北・横浜・藤枝は順次取得予定
- 研修施設の整備（栃木県那須町）
- 社内報を発行（2020年1月より開始、月1回）
- 横浜工場に物流管理室を新設（2020年4月）
- 受動喫煙対策として厚労省技術的基準対応喫煙ルームを設置（2020年5月 本社内）
- 藤枝工場に物流倉庫を設置（2021年4月）
- 横浜工場・東北旭紙業に高所作業車を導入
- 全社においてDXへの取組を開始（2021年4月～）
- 若年労働及び強制労働の厳禁
  - ⇒ 上長教育などを通して従業員に徹底
- 結社の自由や団体交渉権を尊重
- 産休及び男女に関係無く育休制度を実施



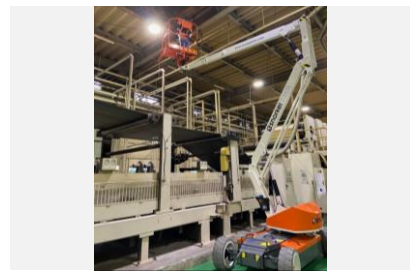
健康優良企業 銀の認定証  
(本社)



東北旭紙業 工場



冷房完備 休憩室  
(東北旭紙業)



高所作業車



那須研修施設



喫煙ルーム (本社)

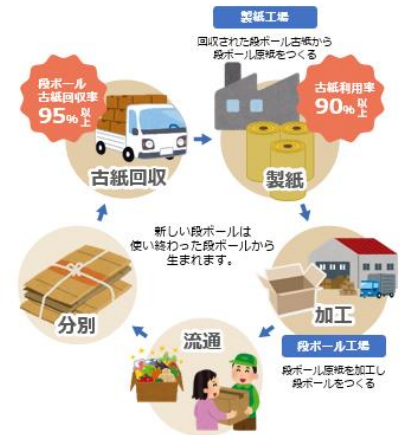


社内報

## 4 環境への取組

アサヒグループは、地球温暖化防止、持続可能な資源循環の促進、可能な限り再生可能エネルギーを自社で生産し活用する事の3点を重要な取組課題とし、その取組を継続してまいります。

- 国内全製造拠点での太陽光発電設備の設置（自社使用電力として）
- FSC<sup>®</sup>(CoC) 認証の取得（2017年から継続中、2021年更新審査に合格）  
⇒2021年度のFSC<sup>®</sup> 製品要求は2017年度から毎年150%以上増加
- FSC 認証の維持・継続とほぼ100%に迫るFSC<sup>®</sup> 認証紙（材料）の使用
- 段ボール・古紙及びび化成品のリサイクルシステムの確立
- 環境負荷・省エネ活動の実施  
⇒低燃費車の導入，納品トラックの効率的な配送による便数削減を継続中
- 全工場に自社エネルギー第2基太陽光発電を順次導入予定



段ボールのリサイクルシステム



ISO9001, ISO14001

FSC-CoC認証



横浜工場 太陽光発電設備

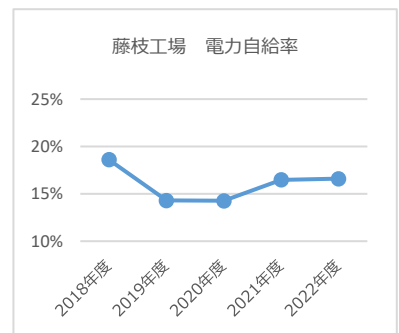
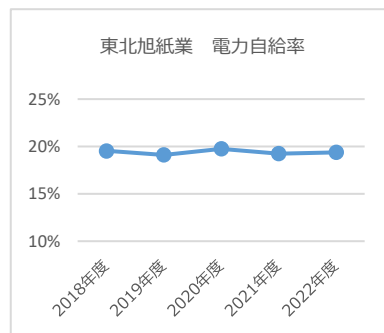
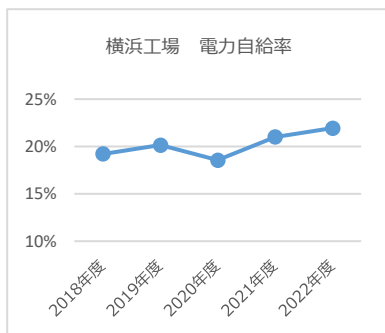


東北旭紙業 太陽光発電設備



藤枝工場 太陽光発電設備

### 自社生産の再生可能エネルギーによる当社電力自給率推移

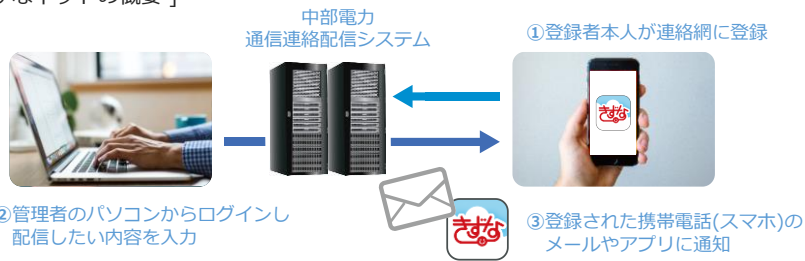


## 5 危機管理の徹底

私たちは、今後、長きにわたって事業を継続していくために、持続可能なBCP体制を維持し、継続的にアップデートを行ってまいります。

- BCP(事業継続計画)マニュアルの随時アップデート (2020年度 新たに感染症対策を追記, 2022年4月 第6版 更新)
- 災害用備蓄品の完備 (定期的に内容アップデート)
- 機密情報管理規定の遵守
- 情報セキュリティのアップデートを推進
- 継続的に実施する避難訓練・消防訓練 (事業所ごとに毎年実施中)
- 安否確認システム「きずなネット」の採用 (2019年1月から)  
⇒会社と従業員 (またはその家族) とが双方向に利用可能
- 危機管理及び安全な職場環境維持の観点から工場内録画機能付カメラの設置 (東北旭紙業 2021年 設置, 横浜工場 2022年 設置)

[ きずなネットの概要 ]



BCP (事業継続計画)



災害用備蓄品



防災用ヘルメット, AED

従業員携帯カード		旭紙業株式会社
所在地	〒108-0074	東京都港区高輪4丁目11番32
電話番号	03-3543-7581	Email: head.office@sashihigyo.co.jp
本人情報		
氏名	アツヒ タロウ 旭 太郎	
住所	東京都港区高輪4-11-32	
携帯TEL	090-0000-XXXX	
生年月日	1990年1月1日	
自宅TEL	03-0000-XXXX	

従業員携帯カード



防災訓練・AED講習会  
(本社)



避難訓練・消防訓練  
(横浜工場)



避難訓練・消防訓練  
(藤枝工場)



防災訓練・救命講習会  
(藤枝工場)



## 6 安全衛生・安心への取組

- 安全・衛生活動  
⇒事業所ごとの委員会活動、年2回の発表会を継続開催
- 従業員及びお客様に工場への入場規定の強化（服装）
- 全社QA・QE活動毎月実施
- 施設バリアフリー対応促進⇒ユニバーサルデザインの導入
- 安全環境アセスメントの推進
- 全営業車にドライブレコーダー導入
- 全事業所にiFaceScanner（AI顔認証、勤怠管理、検温、マスク着用の有無）を設置
- 東北旭紙業に新たに手洗い場設置
- 本社にて「オフィスでごはん(無添加や国産食材にこだわった冷凍食品)」を導入
- 横浜工場 食堂にアイス・冷凍食品自動販売機を追加設置



横浜工場事務所棟 バリアフリー



ドライブレコーダー



iFaceScanner



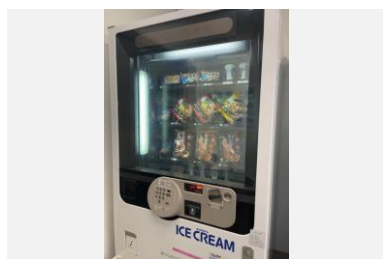
横浜工場事務所棟 来客用エントランス  
(手指消毒液、非接触体温計)



東北旭紙業 手洗い場



本社「オフィスでごはん」導入  
無添加や国産食材にこだわった冷凍食品



横浜工場食堂 アイス・冷凍食品  
自動販売機設置

## 7 地域・社会への貢献

私たちは、地域の皆様とのコミュニケーションや社会貢献活動を通じて、地域社会との共生をはかっていきます。

- 周辺の自治体との災害協力協定の締結
  - ・ 鏡石町（福島県）
  - ・ 港区（東京都）
  - ・ 磯子区（神奈川県横浜市）
  - ・ 藤枝市（静岡県）
- グループ所有施設を地域へ開放（テニスコート・フットサル場など）
- 地域のスポーツ大会に参加
- 社会科見学の一環として常時工場見学の受け入れ
- 地域アドプト活動の推進
  - ・ 港区アドプト・プログラム（東京都）
  - ・ 藤枝市まち美化里親制度（静岡県）



災害協定の締結（鏡石町）2017年8月



東北旭紙業 フットサル場



小学生向け工場見学の実施



港区クリーンアップキャンペーン参加



藤枝総合運動公園美化活動参加



地域アドプト活動（東北旭紙業）



県民スポーツ大会参加（東北旭紙業）

## 8 SDGsへの取組

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) とは、2015年9月国連総会で採択された2016年から2030年までの国際目標です。  
 環境・安全・健康・雇用など世界が直面するさまざまな課題に対し、17の目標と169のターゲットからなるものです。  
 当社はCSRを取り組む中で、関連するSDGs目標とを結びつけ、持続可能な社会貢献を推進いたします。



### ■ 2022年度 SDGs取組目標に対するレビュー

重要課題	目標値と期限	結果	評価
環境に優しい製品開発 12 13 15	5件以上の新規開発 (全社合計)	飛沫防止衝立・ラミネート付ワクチン接種用衝立 段ボール・ペーパーパナヒカム簡易ベッド各種 CO2排出量が少ない緩衝材を使った輸送箱 漆喰パーテーション各種 等々	○
管理職(※指導的立場にある従業員)に占める女性の人員増加 ※当社では主任・班長以上とする 3 4 5 8	毎年2名以上の新規増加 (全社合計)	2020年度：新規女性管理職者 3名 2021年度：新規女性管理職者 0名 2022年度：新規女性管理職者 2名	○
障がい者雇用率の増加 3 5 8	全事業所 各2.3%以上	3事業所が達成	○
育児休業制度の利用者数増加 3 8 12	全事業所合計 年間3名以上の制度利用	2021年度：3名 2022年度：3名	○
廃プラスチックに対する取り組み 13 14 15	① IJPAック、シエパックの積極的利用	事業所間に多少の温度差がある	△
	② マイカップ使用の推進	同上	△
	③ ペットボトルキャップの回収	3事業所で取組中	△
共有インフラの活用 9 11 13	全製品輸送用トラック積載率の向上 ※前年度比 積載積載m単価0.3円以上の減少 (全社合計)	2021年度 達成 2022年度 達成	○
二酸化炭素排出量の削減 7 9 13 17	2021年度比 1%削減	本社 2%削減 東北旭紙業 1%削減 横浜工場 現状維持 藤枝工場 1%削減	○
救命講習受講者の拡大 3 8	普通救命講習を受講 (各事業所2名以上)	2022年度 新たな受講者は無し	×
感染症に対する取組 3 8 11 12	当社BCP(事業継続計画)において新たに感染症 対策と運用規定を追記し運用する(当社独自の 感染症拡大防止策として規定を定め、フロー図 を作成)	BCPマニュアル第6版(2022年4月)で改定	○

## ■ 2023年度 SDGs 取組目標に対する計画・目標

重要課題	目標値と期限	背景と詳細	対象事業所・部署	関連するSDGs目標
環境に優しい製品開発	34件以上の新規提案 (全社合計)	脱プラスチックやCO2削減の大きな流れから、当社が製造する段ボールを通じて環境に寄与する。	全事業所	  
管理職(※指導的立場にある従業員)に占める女性の人員増加 ※当社では主任以上とする	毎年2名以上の新規増加 (全社合計)	男女雇用機会均等法に則り、またダイバーシティ経営を推進する意味から、指導的立場にある女性従業員の増加は不可欠である。	全事業所	   
障がい者雇用率の増加	全事業所2.5%以上	民間企業における障がい者の雇用率2.5%以上(2024年4月以降)を見据え、どの事業所においても達成することが望ましい。	全事業所	  
男女関係なく育休制度を推進	2023年度 7名(男女合計)	全従業員に講習会を年間2回実施し、制度を正しく理解してもらい、利用を促進していく。	全事業所	  
環境問題への取組	①EPAパック、シェアパックの積極的利用	昨今、環境問題への取組は世界的な流れであり、個人ができる小さな取組を継続して行う事に意義がある。	全事業所	  
	②マイカップ使用の促進			
	③割りばしの見直し(マイ箸など)			
共有インフラの活用	同業他社の所有するトラックの継続利用、または製紙会社などの帰りの継続利用⇒2024年までに全製品輸送トラック数の10%超を達成	トラックの数が減少⇒環境負荷減少・二酸化炭素排出量の減少⇒地域社会への貢献・安心・安全な社会へ	東北旭紙業 横浜工場 藤枝工場	  
二酸化炭素排出量の削減	製品出荷用トラックの平米あたりの積載率の向上⇒東北旭紙業、横浜工場、藤枝工場の各事業所ごとに数値を設定  各事業所 前年比 -0.2円/m <sup>2</sup>	廃車を含めた製品出荷用トラック数の削減を実施し、更に二酸化炭素排出量削減を行う。	東北旭紙業 横浜工場 藤枝工場	   
ハラスメント教育拡大	管理職・職場のリーダーに向けた年間2回のハラスメント教育を実施	ハラスメントに関する理解を深め、社内の認識を統一すること	全事業所	 
メンタルヘルス面談の実施	全従業員に対し、年間2回実施	過労やストレスによるメンタルヘルスの不調や精神疾患の発症を未然に防ぐ	全事業所	  
救命講習受講者の拡大	普通救命講習を受講する。 各事業所2名以上	当社全事業所にAEDが設置されているが、多くの従業員がその機能を理解し、使用できなければ、緊急時にそれを必要としている方々を助けることはできない。定期的な実地教育が必要。	全事業所	 



## アサヒグループ

旭紙業株式会社

東北旭紙業株式会社

有限会社アサヒシステム

ヘキサ・ジャパン株式会社

旭紙業（常熟）有限公司

PT OAJ

<https://asahishigyo.co.jp/>

